

フォーラム： 表層メタンハイドレートの資源化を目指して

東京大学および明治大学では日本海に分布する表層メタンハイドレートの起源に関する学術調査を続けておりますが、2013年度には、産業技術総合研究所（つくば）・明治大学および連携する大学・研究機関は、経済産業省資源エネルギー庁の委託をうけ、表層型メタンハイドレートの資源量を把握するための調査研究を実施しました。これらの成果を発表し議論する「表層メタンハイドレート・フォーラム」を下記のように開催いたします。ご来場をお待ちしています。

明治大学・ガスハイドレート研究所 松本 良

日時： 2014年1月23日（木曜日）10時～17時

場所：明治大学（駿河台）グローバルフロント1階グローバルホール

事前登録制（ホームページ<<http://www.kisc.meiji.ac.jp/~hydrate/>>より登録ください）

口頭発表

- | | |
|-------------------------------|---------------|
| 1 日本海の表層メタンハイドレート：学術調査から探査へ | 松本 良（明治大） |
| 2 2013年度 METI 調査の概要：イントロ | 棚橋 学（産総研） |
| 3 広域地形地質調査：ガスチムニーの広域マッピング | 松本 良（明治大） |
| 4 詳細地形地質調査：AUVによるガスチムニー精査 | 棚橋 学（産総研） |
| 5 ROV 無人探査機による海底観察 | 松本 良（明治大） |
| 6 表層メタンハイドレート域での環境モニタリング調査 | 沼波秀樹（東京家政学院大） |
| 7 海鷹丸 UT13 航海：ピストン・コアリング調査 | 内田 隆（秋田大） |
| 8 海底設置型採泥装置 RD2 によるガスチムニー調査 | 松本 良（明治大） |
| 9 日本海の形成と石油天然ガスシステムの成り立ち | 中嶋 健（産総研） |
| 10 メタンハイドレート分布域の堆積層序と環境変動 | 角和善隆（東京大） |
| 11 堆積物間隙水の地球化学とメタン活動 | 戸丸 仁（千葉大） |
| 12 ガス組成の多様性とその意義 | 松本 良（明治大） |
| 13 表層メタンハイドレートの組織・組成と結晶構造 | 谷 篤史（大阪大） |
| 14 海底メタンバブル湧出孔でのメタンハイドレート生成実験 | 蛭田明宏（明治大） |
| 15 メタンハイドレートと多様な生き物との接点 | 鈴木庸平（東京大） |

ポスター発表

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------|
| 16 日本海最上部第四系の珪藻化石層序と珪藻起源の黒色粒子の古海洋学的意義 | 秋葉文雄（珪藻ミナラボ）・谷村好洋・大井剛志・石浜佐栄子・松本 良 |
|---------------------------------------|-----------------------------------|

- 1 7 夏期日本海ハイドレート上の海面におけるメタン (CH₄) ガスフラックス
小宮秀治郎 (明大)、登尾浩助 (明大)、近藤文義 (国環研)、植松光夫 (東大)
松本良 (明大)
- 1 8 「日本海東縁における有孔虫殻の酸素・炭素同位体組成から見た過去 13 万年の古海洋環境変動
石浜佐栄子 (生命の星地球博物館)・大井剛志・長谷川四郎・松本良
- 1 9 「UT13航海試料 (最上トラフおよび隠岐トラフ) を用いたメタンハイドレート産出海域における
珪藻および有孔虫化石研究」
大井剛志 (明治大学)・秋葉文雄・沼波秀樹・松本 良・長谷川四郎
- 2 0 平成 25 年度に UT-13 と NT-13 航海で実施した環境モニタリング調査
沼波秀樹 (東京家政学院大学) および乗船研究者
- 2 1 日本海粗粒および細粒堆積物の初期続成作用と孔隙特性の変化:MD179
内田 隆 (秋田大学)・堀内 瀬奈
- 2 2 上越海丘での熱流量計測と海鷹海脚への長期モニタリング装置の設置:
後藤秀作 (産総研)、佐藤幹夫 (産総研)、稲垣史生 (JAMSTEC)、町山栄章 (JAMSTEC)
棚橋学 (産総研)、森田澄人 (産総研)、松本良 (明治大)
- 2 3 JC13航海において上越海丘・秋田沖から得られた堆積物の TOC・TN 変動と年代推定
滝沢侑子・ト部 輔 (信州大・院・理工学系研究科)・公文富士夫 (信州大・理)
- 2 4 MD179航海において上越沖で採取されたコア試料の TOC 変動からみた第四紀末期の日本海の
古環境・古気候変動
ト部 輔 (信州大・院・理工学系研究科)・公文富士夫 (信州大・理)
- 2 5 「TDR法を用いた海底堆積物中のガス量推定
青木伸輔 (明治大学) 落合博之 登尾浩助 松本良
- 2 6 「表層型ガスハイドレート胚胎域の地形的特徴-日本海の例-」
弘松 峰男 (明治大学)・佐藤幹夫・中嶋 健・青木信輔・大井 剛
福田朱里・柳本 裕・松本 良
- 2 7 「海鷹丸 UT-13 航海報告 : 海底表層における高精度 P 波速度測定を試み」
村上 文俊, 浅川 栄一 (株)地球科学総合研究所)
- 2 8 Late Quaternary biostratigraphy and paleoceanography at cold hydrocarbon seeps
in Joetsu Basin, eastern margin of the Japan Sea
Mahsa SAEIDI ORTAKAND and Shiro HASEGAWA (Kumamoto University)
- 2 9 日本海表層型ガスハイドレート胚胎域に存在する微生物群集
福田朱里 (明治大学) 柳川勝紀、鈴木庸平
- 3 0 「上越および秋田沖の表層堆積物中の炭酸塩ノジュールに記録された微生物のメタン代謝」
森大器 (九州大学) 狩野彰宏
- 3 1 「2013年海鷹丸日本海表層ハイドレート調査におけるメタン関連微生物の分布に関する研究」
橋口純平・今城匠・小林武志 (東京海洋大)
- 3 2 「2013年なつしま日本海表層ハイドレート調査におけるメタン関連微生物の分布に関する研究」

今城匠・橋口純平・小林武志（東京海洋大）

- 3 3 「UT13航海で得られた間隙水の地球化学と表層メタンハイドレートの分布」
尾張聡子（千葉大学）、戸丸仁、内田隆、小林武志、谷篤史、沼波秀樹、松本良
UT13乗船研究者
- 3 4 「UT13航海で得られた間隙水溶存ガスの地球化学的特徴」
鈴木善晴（千葉大学）、戸丸仁、内田隆、小林武志、谷篤史、沼波秀樹
松本良、UT13乗船研究者
- 3 5 バイオマーカーによって明らかにする日本海の環境変動-MD179航海3312コアを用いた分析-
荻原成騎（東京大学）
- 3 6 Porewater profiles and authigenesis on Umitaka Spur, Japan: Using major and trace elements to predict
gas hydrate growth and dissociation.
Glen Snyder (Rice University)
- 3 7 as Hydrate and Authigenesis on the sea floor: Dynamics of a microbially mediated geochemical system.
Glen Snyder (Rice University)
- 3 8 Gas Hydrate Exploration: Survey Methods and Analytical Techniques
Glen Snyder (Rice University)